

# 令和6年度 学校評価アンケート(前期) 結果

光市立上島田小学校

※ 評価点は4点満点、本年度評価項目を見直したため、数値は上段のみ表示。網掛けは肯定的回答の割合が80%未満のもの。

学校評価項目		児童 R6:62	保護者 R6:61	地域 R6:13	教職員 R6:11	総合評価	考察及び課題解決に向けて	
1 2 3 4	学力の向上	学力向上をめざした授業改善に関する評価	3.58	3.20	3.75	3.00	R6前期 3.14	家庭で読書をする日を決めて取り組むことについては、学校から週に一度、音読の代わりに読書をする日を児童に決めさせて宿題とするなど、全校での取組を続けていく。 市立図書館との連携プログラムを活用し、ブックトークやブックトークなど本に親しむ機会を充実させる。多様な本に出会えるような環境をつくる。 ICTの活用について、児童と保護者に認識の差が出ている。タブレット型端末使用上のルールを毎年確認し、家庭でも活用を推進していく。
		家庭学習の習慣定着に関する評価	3.69	3.15	-	3.36		
		ICTを活用した学習に関する評価	3.56	2.82	-	3.27		
		読書活動に関する評価	2.48	1.97	-	3.18		
5 6 7 8	心の教育の重視	清掃や手伝い等、体験活動を通じた心の教育の推進に関する評価	3.50	3.20	3.92	3.36	R6前期 3.43	計画委員会の児童を中心に、自主的なあいさつ運動をしているが、さらに、小中連携の取組み(動画作成と視聴)もしながら、感じが良く、気持ちの良い挨拶を目指す。 相手意識をもち、思いやりのあるのある言動を指導する。 盆踊り大会等、地域の行事に積極的に参加している児童が多いが、習い事等で忙しかったり、知らなかったりする児童もいる。そこで、配布物等を活用して、行事のアナウンスを徹底する。
		気持ちのよい挨拶やふさわしい言葉遣いの励行に関する評価	3.46	3.03	3.46	3.55		
		学校生活を楽しく送ることや児童理解に関する評価	3.73	3.51	2.92	3.55		
		地域や学校の行事への児童の参加に関する評価	3.36	3.13	-	3.36		
9 10 11 12	体力・安全の充実	「早寝」「早起き」「朝ごはん」に関する評価	3.21	3.00	-	3.27	R6前期 3.25	望ましい生活習慣の定着に向け、夏休み明けに「早寝・早起き・朝ごはん」についての保健指導を行う。メディアに関するルール作りについては、メディコンカードやほけんだよりを通じて呼びかけ、振り返りの機会を設ける。 運動の奨励と体力向上については、遊びを中心とした運動の取組を仕組む。縦割り班遊びや業間時間を使った相撲練習・持久走練習・なわとび練習・体づくり遊び等を全校で実施していく。 安全に関しては、引き続き校内・校外・通学路の安全点検を実施しながら、児童のみならず保護者・地域の方と協力して安全を確保していく。
		運動の奨励と体力向上に関する評価	3.32	2.84	3.00	3.36		
		安全な行動に関する評価	3.74	3.36	3.23	3.55		
		安全意識の高まりに関する評価	3.42	3.07	-	3.27		
13 14	連携・協働	学校や地域をよりよくするための活動に関する評価	3.23	2.85	3.54	3.18	R6前期 3.20	可能なものは地域行事と学習の関連を図る。地域を盛り上げるためできそうなことを考え、行事を通じて挑戦する。代表委員会や学級活動で学校生活をよりよくする取組について話し合い実行する。CSだより等で保護者に委員会の取組等を紹介する。 交流や連携を行う際に、学校間で活動のねらいや指導について共通理解を図る。
		幼保・小・中との交流や連携に関する評価	3.29	-	-	3.09		
15 16	業務改善	業務の効率化と健康の保持に関する評価	-	-	-	3.18	R6前期 3.18	終礼の時間が長引いたり、調査依頼や報告文書の作成に時間を割いたりして、授業準備等に放課後の時間を使えないことが多いことが課題として挙げられる。職員会議を協議の場とし、チャットでの連絡も活用しながら短時間で効率的に終礼を行う。 資質・能力向上や教育活動の改善に関する研修を校内研修の計画に盛り込む。
		資質・能力の向上と学校運営や教育活動の改善に関する評価	-	-	-	3.18		

## 前期の総括

家庭学習や学習準備についての項目が昨年よりも向上している。読書活動の推進やICTを活用した学習については、家庭学習との関連を図り、学校と家庭が連携した全校体制での取組を強化していく必要がある。学校や地域の行事を早めに周知し、目標をもって取り組めるように学校で指導したり、家庭や地域で励ましの声かけをしたりして児童の活動を支援したい。運動の奨励と体力向上については、縦割り班遊びや業間時間を使った取組を全校で実施していく。第2回学校運営協議会で各委員会で計画を立てた企画書の内容を実行に移し、取組の成果を保護者や地域の方々に紹介する機会をもちたい。児童の取組を学校、家庭、地域がPTA役員会や学校運営協議会の場を中心にして内容を確認し合いながら支えていき、課題の改善を図っていきたい。